

平成26年度塩谷南那須の教育

Q3: 「危険回避能力」を効果的に身に付けさせるためには、教科・領域において、どのように指導すればよいですか。

はじめに

教科・領域との
関連



各学校では、各教科・領域において「危険回避能力」を身に付けるために、発達の段階に応じ、ねらいや特性を踏まえて、防災教育の推進を図っています。
ここでは「防災教育」に関わる教科・領域の関連を整理し、「何を、どのように身に付けさせるのか」の一例を挙げて、指導のための「ヒント」を示します。

【幼稚園段階では、・・・】

- ・体験を通して、危険な場所や物などが分かり、災害などの緊急時に、教職員や保護者の指示を受けて、落ち着いて素早く行動できるようにする。
- ・幼児一人一人の特徴を捉え、幼い命をどう守るかを考える。そして、幼稚園段階から身に付けた能力を小学校低学年につないでいくようにする。

【参考資料】

- ・「生きる力」を育む防災教育の展開(文部科学省 H25.3)
- ・「学校における防災関係指導資料」(県教委 H25.9)

	発達の段階における「ねらい」	関連する教科・領域	
小・低学年	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に行動することの大切さを理解し、安全のためのきまり・約束を守ることや身の回りの危険に気付くことができるようにする。 ・危険な状態を発見した場合や事件・事故災害時には、教職員や保護者など近くの大人に速やかに連絡し、指示に従うなど適切な行動ができるようにする。 	<input type="checkbox"/> 生活「安全で適切な行動」 <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 特別活動	<p>【生活の例】 自分と身近な人々や社会との関わりに関心をもって、それらと主体的に関わり、安全で適切な行動ができるようにする。</p> <p>【道徳の例】 基本的な生活習慣や生命尊重の学習を通して、安全に気を付けたり、命を大切にしたりする態度を育むようにする。</p>
中学年	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な危険の原因や事故の防止について理解できるようにする。 ・危険に気付き、自ら安全な行動をとることができるようにする。 	<input type="checkbox"/> 社会「地域社会における災害及び事故の防止」 <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 総合 <input type="checkbox"/> 特別活動	<p>【総合の例】 「防災のための安全な町づくりとその取組」について、探究的に学習する中で、防災意識の大切さについて考えられるようにする。</p>
高学年	<ul style="list-style-type: none"> ・危険を予測し、進んで安全な行動ができるようにする。 ・家族など身近な人々の安全にも気配りができるようにする。 	<input type="checkbox"/> 社会「自然災害の防止」 <input type="checkbox"/> 理科「流水の働き」 「気候の変化」 「土地のつくりと変化」 <input type="checkbox"/> 体育「けがの防止」 <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 総合 <input type="checkbox"/> 特別活動	<p>【理科の例】 川の増水や火山の噴火、地震などによる土地の変化を知ったり、雲の動きにより天気の変化を知り、気象情報を活用したりして、自然災害と関連付けるようにする。</p> <p>【体育の例】 身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがを防止するためには、周囲の状況をよく見極め、危険に早く気付いて、的確な判断の下に安全に行動することが必要であることを理解できるようにする。</p>
中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・防災への日常の備えや的確な避難行動ができるようにする。 ・他者の安全に配慮し、自他の安全に対する自己責任感を育成する。 ・学校、地域の防災や災害時のボランティア活動等の大切さについても理解を深め、参加できるようにする。 	<input type="checkbox"/> 社会「日本の様々な地域」 <input type="checkbox"/> 理科「大地の成り立ちと変化」 「気象と変化」「自然と人間」 <input type="checkbox"/> 保健体育「傷害の防止」 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 総合 <input type="checkbox"/> 特別活動	<p>【社会の例】 地域の地形や気象などの自然環境に関する特色ある事象を中核として、自然環境が地域の人々の生活や産業などに深い関係をもっていることや、地域の自然災害に応じた防災対策が大切であることなどについて考えられるようにする。</p> <p>【特別活動の例】 災害時におけるボランティア活動の意義を学級活動で話し合わせたり、実践力や意欲、社会奉仕の精神を養うために、生徒会活動や学校行事で実際にボランティア活動に参加させたりする。</p>

おわりに



「危険回避能力」を効果的に身に付けさせるためには、教職員は、各教科・領域における自然災害に関する指導内容を明確にして、児童生徒に対して、直接的・間接的に働きかけることが重要となります。

各学校では、もう一度「防災教育」への取組について確認し、体系的・系統的に指導等に当たってください。

